

つくば R8 シン・アイデアソン 募集要項

—周辺市街地に人の流れを生むアイデアを共創し、実証に挑戦—



1. 趣旨

(1) 背景・目的

つくば市には、市町村合併以前から生活の拠点として栄えてきた8つの市街地（北条・小田・大曾根・吉沼・上郷・栄・谷田部・高見原）があり、今は市の周辺部に位置することから「周辺市街地（愛称：R8）」と呼んでいます。中心市街地にはない個性・魅力を持つ R8 ですが、人口の減少や少子高齢化の傾向も見られ、地域活力の低下が課題となっています。

このような状況の中で、R8 では地域の皆さんが主役となってまちづくりを行なう機運が高まり、8つの「周辺市街地活性化協議会」（以下、協議会）が各地に設立され、様々な地域活動を展開することで、その価値が見直されつつあります。

本事業は、多様な人材の参画による R8 の持続可能な地域づくりの促進を目的としています。R8 により多くの人の流れを生み出すことをミッションとしつつ、3つのテーマについて参加者同士でチームを結成し、アイデアソンを実施します。参加者は事業計画から実証まで挑戦するという過程を通じて、地域づくり活動に必要なノウハウを身に付けることができます。

(2) 対象地域

吉沼（よしぬま）

豊かな自然の恵みが
特産品として結実

上郷（かみごう）

小貝川沿いの自然と
歴史、文化が集積

谷田部（やたべ）

江戸時代の発明家
飯塚伊賀七の故郷

高見原（たかみはら）

JR 牛久駅が最寄り
自然が身近なまち



北条（ほうじょう）

門前町として発展し
今なお風情を残す

小田（おだ）

城址や登山口など
観光資源が豊富！

大曾根（おおぞね）

歴史ある街道
大樹が残るまち

栄（さかえ）

長屋門など
歴史的建物が残る

引用：「つくばスタイル CRAFT」

2. 実施内容

1) 概要

R8により多くの人の流れを生み出すため、アイデアソンを通じて3つのテーマ（イベントづくり・商品開発・誘客促進）ごとにチームを結成し、プレゼンテーション審査に合格したチームには実証事業に挑戦していただきます。実証に際しては本事業の運営事務局である株式会社ミカミとチームの代表者が委託契約を結び、実証委託費として最大40万円を支給するほか、定期的なメンタリング、広報面でのサポート等を行います。

【3つのテーマについて】

3つのテーマは事業の切り口こそ異なるものの「R8により多くの人の流れを生み出す」というミッションは同じです。以下のテーマを意識した上で、「シン・アイデアソン実証事業」として相互に連携を図りながらより効果的な実証事業の展開を期待します。

イベントづくり：R8の魅力を知る・体験するなどR8の資源を活かしたイベントを企画・実施し、R8への来訪者の増加を目指す。

商品開発：R8の豊かな資源を活かして商品開発に挑戦し、その開発プロセスや完成品の消費という形で日常生活の中にR8との接点を作る。

誘客促進：R8での魅力的な取り組みの認知度を向上させ、実際に足を運んでもらえるようなきっかけとなる情報発信、仕組みづくりに挑戦する。

※実証に挑戦できるのは原則として3チームまでとします。

※法規制等に抵触する可能性があるアイデアは、実証内容の一部を変更していただく場合があります。

※審査では3チームの選定を想定していますが、実証が困難であると判断される場合など選定数が想定を下回る可能性がありますので、ご了承ください。

アイデアソン【ideathon】とは？

アイデア (idea) とマラソン (marathon) を掛け合わせた造語であり、一定の期間内で特定のテーマについてチームごとにアイデアを出し合い、共同作業で問題解決を図る催しを指す。

(参考) goo 国語辞書



本事業ではアイデアを出し合うだけでなく、それらを新たなアイデアへ昇華させ、実証まで挑戦します！

(2) 実施スケジュール

月日	場所 (予定)	内容
4月10日(月) ～ 5月28日(日)	—	応募期間
5月29日(月)～	—	Slack への招待、参加者自己紹介
【Day 1】 6月11日(日) 13:00～17:00	つくば市役所	①オリエンテーション・顔合わせ ②ゲストスピーカーによる講演 ③テーマ別にアイデア出し ④ワールドカフェ形式で、各テーマでアイデア出し ⑤自テーマの卓へ戻り、再検討
【Day 2】 6月18日(日) 13:00～17:00	つくば市役所	①アイデアの絞り込み ②チームメンバーの確定 ③講義：事業計画作成のフレームワーク ④事業計画の作成
【Day 3】 7月2日(日) 13:00～17:00	つくば市役所	①ファシリテーター・有識者等とのディスカッション ②事業計画の改善 ③プレゼン準備
【Day 4】 7月23日(日) 13:00～17:00	つくば市役所	①プレゼン準備 ②プレゼンテーション ③審査/トークセッション ④審査結果発表
7月下旬	つくば市役所	契約締結 (別紙様式第1号「契約書」) チーム研修
8月～ 翌年2月末	現地	実証事業実施 チームワーク強化ワークショップ
	調整中	9～12月に情報交換会の実施を予定 2月下旬に予定するつくば R8 シンポジウムにて成果報告
～3/15(金)	—	実績報告書提出 (別紙様式第2号「実績報告書」)

(3) ファシリテーター

堀下 恭平（ほりした きょうへい）氏（株式会社しびっくぱわー 代表取締役社長）

1990年熊本生まれつくば市在住。商店街活性化/行政計画策定支援で最初の起業。2016年あらゆる挑戦を応援する場 Tsukuba Place Lab 創業。6年で1,800回以上のイベント企画運営/25,000名の利用者。2018年つくば駅前コワーキング up Tsukuba 創業。2021年つくばスタートアップパーク運営。「迷ったら全部やる」がモットーで「成功するまで続ければ失敗しない」が信念。総務省認定 地域力創造アドバイザー。

(4) ゲストスピーカー

菅原 広豊（すがわら ひろと）氏（一般社団法人常陸 frogs 代表理事）

1984年生まれ。秋田県出身。茨城県日立市在住。会社員をしながら地域のプロジェクトに関わる複業家として7年間活動した後、2020年に地域×教育をテーマに人財育成プログラム「常陸 frogs」で起業。4年間で茨城県内の訪問した学校は94校以上、講演した生徒数は3000名を突破。年間100件以上の学生メンタリングを実施。「誰もが才能や強みを発揮できる社会をつくる」がミッション。令和4年度茨城県表彰 新しいいばらきづくり表彰産業振興受賞。

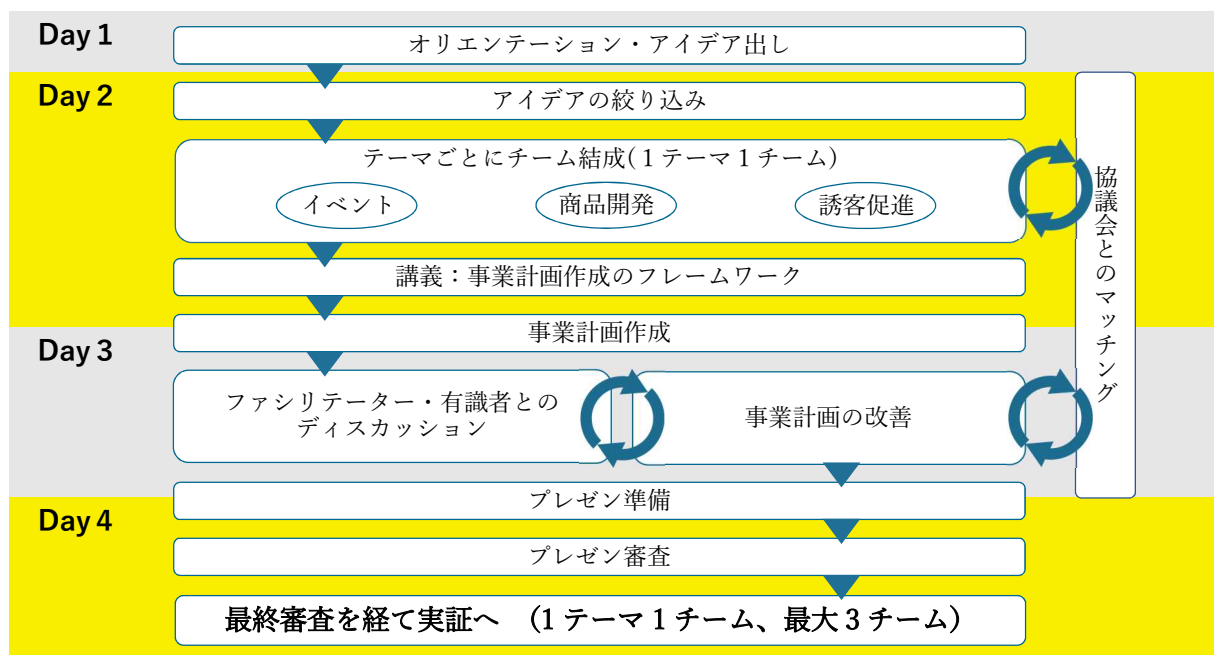
3. 選定について

(1) 選定の流れ

1日目にアイデア出し、2日目にアイデアの絞り込みとチームの確定、3日目にファシリテーターや有識者とディスカッションして事業計画を改善、4日目に有識者による審査を行います。

4日間の中で実証事業の対象となる R8 の協議会とのマッチングを図り、地域とのすり合わせを行うことで、より実現性のある効果的な事業へとブラッシュアップしていきます。

これらを踏まえて最終プレゼンをしていただき、(2) の評価視点に基づく審査で、委託の可否を決定します。



(2) 評価視点

① R8の魅力を引き出すのに有効なアイデアか。
② 実現性のある事業計画が立てられているか。
③ 事業計画を実現できるチームメンバーが揃っている、あるいは揃う見込みがあるか。
④ 対象となる地域の協議会との調整が十分になされているか。
⑤ 実証期間終了後も継続・発展する見込みがあるか。

(3) 審査員（つくばR8ネットワーク有識者）

蓮見 孝（はすみ たかし）氏 筑波大学名誉教授

西野 由希子（にしの ゆきこ）氏 茨城大学 人文社会科学部教授

堀田 誉（ほった ほまれ）氏 株式会社 Co-Lab 共同代表

江本 珠理（えもと じゅり）氏 株式会社グランドレベル コミュニティマネージャー

4. 応募方法

(1) 募集対象者

R8の地域づくり活動に関心があり、地域の人たちと協力・連携しながら、企画から実証まで挑戦してみたいという熱意がある方を募集いたします。なお、本事業は実証開始までに4日間の共通プログラムを用意しております。原則としてこれらにすべてご参加ください。

- ・本事業の趣旨に賛同し、参加者同士でチームを組んで実証事業に挑戦したい方
- ・R8での地域活性化に関心があり、実際に動きたい方
- ・地域の方とともに地域づくり活動に取り組みたい方
- ・地域活動を始める第一歩を踏み出したい方

など、分野や経験の有無を問わず、熱意ある皆さんをお待ちしています。

※以下に該当する場合には応募できません。

ア. 反社会的勢力とかかわりのある者

イ. 市税や都道府県税、所得税、法人税及び消費税等の滞納がある者

ウ. いずれかの周辺市街地活性化協議会に加入している方（新たな人材の参画を目的とするため）

(2) 募集人数

30名程度 ※応募多数の場合、選考を実施する可能性があります。

応募結果については募集期間後に事務局からご連絡いたします。

(3) 募集期間

2023年4月10日（月）～2023年5月28日（日）まで

(4) 参加費用

無料

ただし、交通費・昼食代等の参加に関する各種費用は自己負担となります。

(5) 応募方法

下記リンクまたは右の QR コードからお申し込みください。

<<https://forms.gle/HQ534eueMwfAJ18w5>>



【応募フォームの記入内容】

ア. 基本情報	・氏名（フリガナ） ・年齢 ・連絡先（メールアドレス・電話番号） ・住所
イ. 応募動機 （自由記述）	（例）自身のスキルを活かして地域活性化に貢献したい。 アイデアソンで新たなアイデアを共創し、実証したい。
ウ. 参加したいテーマ （第3希望まで選択）	①イベントづくり ②商品開発 ③誘客促進
エ. 具体的にやりたいこと （自由記述）	（例）R8 全体で連携して一つのイベントを実施したい。 R8 各地の特徴を盛り込んだお弁当のレシピを開発したい。 R8 全体の情報発信をする総合サイトを作成、運営したい。
オ. R8 との関わり （選択）	①知らなかった。 ②聞いたことはあるが行ったことはない。 ③R8 のいずれかに行ったことがある。 ④R8 のいずれかが好きで、定期的に訪れている。 ⑤R8 のいずれかに居住もしくは通勤・通学している

(6) 留意事項

応募に際しては以下の留意事項をよくご確認ください、了承の上でお申し込みください。

- ①応募フォームで収集した個人情報は、厳重に管理し、本事業に関する連絡など事業の運営のみに使用します。また、本人の許可なく第三者に公開しないものとします。
- ②当事業の様子は広報誌やホームページなどで一般に公開する可能性がありますので、写真などの撮影・掲載についてご了承ください。
- ③アイデアソンで共創した事業に関する著作権はチームの共有に属し、特定の個人に帰属しないことをご了承ください。
- ④応募期間後に運営事務局からメールで連絡をしますので、「@mikami-web.co.jp」からのメールを受信できるよう、設定をご確認ください。メールで連絡が取れない場合には、電話または郵送にてご連絡いたします。
- ⑤本事業においては事務局からの情報伝達やチーム内のコミュニケーション用に Slack を使用します。登録料等はありませんが、利用に伴う通信費については自己負担となりますのでご了承ください。登録・操作方法等の案内は応募期間後に事務局よりご案内いたします。

5. 実証事業について

(1) 実証期間

契約後、2024年2月29日（木）までとします。

実証期間外の支払いは実証委託費から支出できませんので、期間内に事業の実施をお願いします。

(2) サポート内容

実証期間中は以下のサポートを行いません

① 実証委託費の支給

実証チームの代表者と運営事務局で委託契約を締結し、実証委託費（最大40万円）を支給します。

② チームワーク強化ワークショップ

実証事業開始前に実証チームを対象に研修の機会を設け、チームでの活動がより円滑になるよう支援します。

③ 定期メンタリング

実証チームに対して、事務局スタッフによる定期的なメンタリングの機会を設け、事業の円滑な実施を支援します。※オンラインでの実施を想定

④ 広報の支援

必要に応じてつくば市公式ホームページやSNS、広報つくば等による広報の支援を行いません。

※実証期間後も事業を継続する場合、令和6年度中（2025年3月末まで）はつくば市からの広報支援が受けられます。

⑤ 地域連携支援

実証事業が円滑に実施できるよう、必要に応じてそれぞれのR8の協議会との顔合わせの機会を設けるなど、地域との橋渡しを支援します。

(3) 進捗報告

実証チームは事業の実施状況について、適宜報告をしていただきます。

① 地域への進捗報告

必要に応じて事業の対象地域の協議会に対して定例会等で進捗報告をしていただきます。

② 情報交換会への参加

実証期間中に予定する情報交換会にご出席していただきます。（9～12月の間での実施を予定）

③ 成果発表（経過報告）

2024年2月に開催予定の「つくばR8シンポジウム」（一般公開）にて報告をしていただきます。

④ 実績報告

2024年3月13日（水）までに別紙の様式第2号「実績報告書」を提出していただきます。

6. お問い合わせ先

(1) 運営事務局

つくば R8 シン・アイデアソンについては、以下までお問い合わせください。

※対応時間：平日 8:00-17:00

株式会社ミカミ

〒311-4153 茨城県水戸市河和田町 4471-45

TEL：029-253-9015

Mail：tsukuba-r8@mikami-web.co.jp

(2) 主催

その他ご不明な点は、以下までお問い合わせください。

※対応時間：平日 8:30-17:15

つくば市 都市計画部 周辺市街地振興課

〒305-8555 茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1

TEL：029-883-1111（代表）

